

## 履 歴 書

氏 名 西之園晴夫 (にしのその はるお)

生年月日 昭和 10(1935)年 11 月 23 日

## 学 歴

昭和 34(1959)年 3 月 京都大学工学部電子工学科卒業  
 昭和 34(1959)年 4 月 京都大学教育学部入学 (教育課程)  
 昭和 36(1961)年 3 月 京都大学教育学部卒業

## 職 歴

昭和 36(1961)年 4 月 京都大学工学部電気工学科助手 (昭和 36 年 7 月まで)  
 昭和 36(1961)年 8 月 京都大学工業教員養成所電気工学科助手 (昭和 40 年 2 月まで)  
 昭和 40(1965)年 3 月 京都大学工業教員養成所電気工学科助教授 (昭和 41 年 10 月まで)  
 昭和 41(1966)年 11 月 フランス技術教育高等師範学校フランス政府給費技術留学生 (8 ヶ月)  
 昭和 43(1968)年 4 月 京都教育大学教育学部技術職業科助教授 (昭和 47 年 4 月まで)  
 昭和 47(1972)年 5 月 京都教育大学教育学部附属教育工学センター助教授 (昭和 53 年 3 月まで)  
 昭和 53(1978)年 4 月 京都教育大学教育学部附属教育工学センター教授 (昭和 53 年 9 月まで)  
 昭和 53(1978)年 10 月 文部省長期在外研究員 (カナダ, ケベック州コンコルディア大学他)  
 (昭和 54 年 10 月まで)  
 昭和 55(1980)年 4 月 京都教育大学附属教育実践研究指導センター教授 (平成 5 年 3 月まで)  
 平成 5(1993)年 4 月 京都教育大学名誉教授  
 平成 5(1993)年 4 月 鳴門教育大学教授 (学校教育学部教育方法講座) (平成 10 年 3 月まで)  
 平成 9(1997)年 4 月 兵庫教育大学大学院・連合学校教育学研究科・教授 (博士課程○合,  
 平成 10 年 3 月まで)  
 平成 11(1999)年 4 月 佛教大学教育学部教授  
 佛教大学教育学研究科教授  
 平成 17(2005)年 4 月 佛教大学特任教授  
 平成 20(2008)年 3 月 佛教大学を退職

## 学会及び社会における活動 (主なもののみ)

昭和 54(1979)年 4 月 国立大学教育工学センター協議会副会長  
 昭和 56(1981)年 4 月 国立大学教育工学センター協議会会長 (通算 10 年間)  
 昭和 56(1981)年 7 月 社会教育審議会専門委員 (教育放送分科会, 通算 3 年半)  
 昭和 58(1981)年 10 月 日本教育工学センター協議会座長  
 昭和 60(1985)年 2 月 情報化社会に対応する初等中等教育の在り方に関する調査研究協力者  
 昭和 60(1985)年 4 月 社会教育審議会専門委員 (教育メディア分科会, 通算 2 年半)  
 昭和 60(1985)年 10 月 ユネスコ国内委員会委員(通算 6 年間)  
 昭和 62(1987)年 2 月 学術審議会専門委員(科学研究費分科会, 通算 4 年間)  
 平成 6(1994)年 4 月 日本教育工学協会会長(通算 2 年間)  
 平成 6(1994)年 4 月 大学入試センター新教育課程試験問題調査研究委員会委員, 併任教授,  
 教科専門委員会委員(通算 4 年間)  
 平成 9(1997)年 12 月 通信衛星を活用した教育情報通信ネットワークの在り方に関する調査  
 研究協力者(通算 2 年間)  
 平成 16(2004)年 5 月 特定非営利活動法人学習開発研究所代表

学 位 工学士, 教育学士

所属学会 日本教育工学会, 日本科学教育学会, 日本教育実践学会, 教育情報システム学会,  
European Distance and E-Learning Network (EDEN)

賞 罰	1988 年	日本教育工学会論文賞
	1992 年	京都府教育委員会教育賞
	1993 年	京都市教育委員会教育賞
	1995 年	通商産業大臣賞
	2000 年	京都市教育委員会教育賞
	2004 年	日本教育工学会論文賞
	2013 年	日本科学教育学会学術賞
	2014 年	教育システム情報学会功労賞
	2015 年 11 月	秋の叙勲 瑞宝中綬章

## 研究業績

### 【著 書】

- 1) 西之園晴夫 (共著), 第 4 章・教育方法の展開 (93-132 頁), 第 5 章・教育工学の将来 (167-192 頁), 木原健太郎 (編著) 現代社会における教育工学, 大日本図書, 1971
- 2) 西之園晴夫 (共著), 第 3 章アメリカにおける教授工学の発展 (83-91 頁), 佐伯正一 (編著) 個別化学習の理論, 明治図書, 1972
- 3) 西之園晴夫 (共著), 第 1 章第 3 節・教育工学実践の領域 (42-53 頁), 第 4 節・教育実践の本質 (54-59 頁), 田中正吾 (編著) 教育工学実践の基礎, 学習研究社, 1974
- 4) 西之園晴夫 (共著), 第 2 章教授学習過程の設計と評価 (21-58 頁) 第 3 章第 4 節西之園研究グループシステム (117-131 頁), 教育工学研究成果刊行会 (代表者大塚明郎) 教育工学の新しい展開, 第一法規, 1977
- 5) 西之園晴夫 (共著), 第 5 章・教材開発と利用の技術 (118-125 頁), 坂元昂 (編著) 教材開発研究の新技术, 明治図書, 1977
- 6) 西之園晴夫 (共著), 第 3 章・授業モデルと授業の設計 (61-86 頁), 第 4 章・授業の実施 (171-188 頁), 中野照海 (編著) 教育工学 (教育学講座第 6 卷), 学習研究社, 1979
- 7) 西之園晴夫 (共著), 第 7 章第 2 節ケベック州における教師教育の問題点と新しい試み (230-241 頁), 高倉翔 (編著) 教師教育の現状と改革—諸外国と日本—, 第一法規, 1980
- 8) 西之園晴夫 (共著), 教授学習過程の研究 (49-66 頁), 永野重史, 波多野誼余夫他, 教育心理学シンポジウム歴史と展望 1959-1978, 川島書店, 1980
- 9) 西之園晴夫 (共著), 第 8 章授業の工学的管理 (203-238 頁), 木原健太郎他, 学習指導の組織・形態, 図書文化, 1981
- 10) 西之園晴夫 (単著), 授業の過程 (教育学大全集第 30 卷), 第一法規, 1981
- 11) 西之園晴夫 (共著), 第 6 章・授業における教材・教具の機能 (125-149 頁), 第 9 章・授業研究の今後の課題 (211-234 頁), 水越敏行, 梶田叡一ほか, 授業の計画と設計, 第一法規, 1984
- 11) 西之園晴夫 (単著), コンピュータによる授業設計と評価, 東京書籍, 1986
- 12) 西之園晴夫 (共著), 第 3 章教育機器のあり方 (81-118 頁), 坂本賢三, 赤木昭夫ほか 4 名, 教育と機械 (岩波講座「教育の方法」第 10 卷), 岩波書店, 1987
- 13) 西之園晴夫 (共著), 第 1 章・教師教育の動向, 外国の場合 (66-84 頁), 八田昭平ほか 11 名, 教育実習と実地教育 (実践教職課程講座 5), 日本教育図書センター, 1988
- 14) 西之園晴夫 (共著), 序章・教育工学実践の力量が職能成長に果たす役割 (3-17 頁), 第 8 章・教育工学の力量形成と研修 (291-318 頁), 西之園晴夫ほか 11 名, 教育工学実践にとりくむ力量, ぎょうせい, 1990
- 15) 西之園晴夫 (共著), 第 1 章・小・中・高等学校における情報教育の基本的な取り組み方 (7-21 頁), 第 2 章・中学校の情報教育 (23-34 頁), 西之園晴夫, 村田正男, 石川賢著, これからの情報教育とその指導, 東京書籍, 1990
- 16) 西之園晴夫 (共著), 情報教育の海外動向: イギリス編 (112-132 頁), パソコン活用大百科 1994, 実教出版, 1993
- 17) 西之園晴夫 (共著), 第 2 章・学校教育における情報化の方向 (33-74 頁), 下村哲夫 (編著), 新学校教育全書 7・情報化と学校教育, ぎょうせい, 1994
- 18) 西之園晴夫 (共著), 第 6 章・情報化社会と学級経営 (211-239 頁), 水越敏行 (編著), 学級経営実践講座 2・変わる教育環境と学級経営, ぎょうせい, 1994
- 19) 西之園晴夫 (共著), 情報教育の海外動向: イギリス総集編 (128-150 頁), パソコン活用大百科 1995, 実教出版, 1994
- 20) 西之園晴夫 (編), 情報教育重要用語 300 の基礎知識, 明治図書, 2001
- 21) 西之園晴夫, 宮寺 晃夫編著, 教育の方法と技術, ミネルヴァ書房, 2004
- 22) 西之園晴夫, 岡本 敏雄編著, 情報科教育の方法と技術, ミネルヴァ書房, 2007
- 23) 西之園晴夫, 望月紫帆著, 宮田仁共著, 学習ガイドブック 教育の技術と方法—チームによる問題解決のために, ミネルヴァ書房, 2011

- 24) 西之園晴夫第1巻第3章第3節「工学, 技術学, 技術そして実践からみた教育工学」  
 第5巻序章 教育工学分野における教育実践研究とは何か(共著)  
 第3章 生涯職能学習と実践研究(分担)  
 終章 教育工学分野における教育実践研究の今後の展望(共著)  
 西之園 晴夫,小柳 和喜雄,生田孝至編著,教育工学における教育実践研究 (教育工学選書)  
 日本教育工学会(監修), ミネルヴァ書房, 2012
- 25) 西之園晴夫 篠原 正典,宮寺 晃夫編著、新しい教育の方法と技術, 2012
- 26) 西之園晴夫他「教える」から「学ぶ」への変革: 学習投資への道 学習開発シリーズ [Kindle 版]  
 学習開発研究所, 2014

## 【論文】

- 01) 西之園晴夫, 工業教育の科学と技術, 電子通信学会誌, 第49巻10号, 1829-1834頁, 1966
- 02) 西之園晴夫, フランスの教育改革が技術教育に及ぼした影響, 京都大学工業教員養成所研究報告第4号, 1-9頁, 1968
- 03) 西之園晴夫, 教育における電子計算機の利用 (I) - プログラム教材の評価方法について -, 京都教育大学紀要, Ser. A, No.35, pp.137-142, 1969
- 04) 西之園晴夫, 教育における電子計算機の利用 (II) - C A I 言語について -, 京都教育大学紀要, Ser. A, No.38, pp.37-46, 1972
- 05) 西之園晴夫, カリキュラム開発システムの設計, 京都教育大学紀要, Ser.A,No.41, pp.43-57, 1972
- 06) 西之園晴夫, 授業設計のためのシミュレーションゲームと授業過程設計書の修正方法, 京都教育大学紀要,Ser.A,No.46, pp.137-142, 1975
- 07) 西之園晴夫, 記号による教授学習過程の設計方法と現職教員の訓練, 日本教育工学雑誌, Vol.1,No.1, pp.5-16, 1976
- 08) 西之園晴夫, 永野和男, 下村勉, 二値パターンとして分類できる構成式解答のデータ処理方法, 日本教育工学雑誌, Vol.2,No.4, pp.103-113, 1976
- 09) 西之園晴夫, 藤田哲雄, 演習・実験授業を含む教科教育(理科) 授業の開発と実施結果 - 教育工学的アプローチの試み -, 京都教育大学紀要, Ser.A, No.49, pp.105-118, 1976
- 10) NISHINOSONO, Haruo, HINO, Eiichi, FUJITA, Tetsuo, Two Symbol System for Designing Instructional Process, Educational Technology Research, Vol.2 No.1, pp.9-17, 1977
- 11) 西之園晴夫, 永野和男, 下村勉, 教育研究のためのデータ処理システムと操作言語の開発, 日本教育工学雑誌, Vol.3, No.3, 1978
- 12) NISHINOSONO, Haruo, The Present State of Educational Technology in Japan, The Annual Conference of the AMTEC'79 Ottawa, pp.1-23, 1979
- 13) NISHINOSONO, Haruo, A Paradigm of Instructional Technology for Classroom Teaching, 京都教育大学紀要, Ser.A1, No.57, pp.29-43, 1980
- 14) NISHINOSONO, Haruo, The Assessment of Pupils Performance in Science, Journal of Science Education in Japan, Vol.4, No.4, pp.149-161, 1980
- 15) 西之園晴夫, 増田久子, 衣川悦子, 教授方策析出のための授業分析の方法論とその適用 - 小学校家庭科の事例, 京都教育大学紀要 Ser.A, No.58, pp.71-88, 1981
- 16) 西之園晴夫, 永野和男, 教育シソーラス作成のための基礎資料としてのキーワード選定 (II) - 教育分野について抽出した用語の問題点 -, 科学教育研究, Vol.5, No.3, pp.113-119, 1981
- 17) 西之園晴夫, 増田久子, 衣川悦子, 教授方策析出のための授業分析の方法論とその適用 (II) 小学校家庭科の授業を事例として, 京都教育大学紀要, Ser.A, No.60, pp.117-128, 1982
- 18) NISHINOSONO, Haruo, Computer Application in Teacher Education - Toward a Self-Instruction System, Journal of Science Education in Japan, Vol.7, No.2, pp.60-68, 1983
- 19) NISHINOSONO, Haruo, Transportability of Software for Microcomputer, Journal of Science Education in Japan, Vol.8, No.1, pp.157-162, 1984
- 20) NISHINOSONO, Haruo, NAGANO, Kazuo, A Computer-Assisted self-Instruction

System for Teachers: The Present Status of Development, Aspects of Educational Technology, Vol.18 pp.81-86, 1985

- 21) 西之園晴夫, コンピュータ・リテラシ教育の課題, 情報処理, Vol.27, No.10, pp.1129-1136, 1986
- 22) 西之園晴夫, 増田久子, 唐沢博, 授業過程の構造的記述と部分系列置換による解析システムの開発, 日本教育工学雑誌, Vol.11, No.4, pp.157-170, 1988
- 23) NISHINOSONO, Haruo, Informatics in General Education: Japanese Plan, Prospects Vol.17 No.4, pp.539-546, 1988
- 24) NISHINOSONO, Haruo, Structurally Describing Instructional Processes and a Method of Analysis Using Partially -Defined Sequences, Educational Technology Research, Vol. 1, No. 2, 1989
- 25) NISHINOSONO, Haruo, The Use of New Information Technology in Education Evaluating the Experience of Japan and other Asian Countries, IIFEP XXVth Anniversary Workshop Booklet No.4, 1989
- 26) NISHINOSONO, Haruo, International Cooperation for Educational Use of Computers in Asia and the Pacific through UNESCO and Recent Trends in Japan, Computers in Education: Proceedings of the IFIP TC 3 Fifth World Conference on Computers in Education WCCE90, 1990
- 27) 西之園晴夫, Mind 言語における座標と空間について, CAI 学会誌, pp. 44-50, 1991
- 28) NISHINOSONO, Haruo, Two decades of Educational Research in Japan, ICOMMET 91 pp. 265-268, 1991
- 29) NISHINOSONO, Haruo, Japanese Experience in Information Education, Asia Pacific Educational Technology Convention 1992
- 30) NISHINOSONO, Haruo, Learning and Literacy in the Information Society, UNESCO Seminar on Literacy in Information Society, pp. 60-72, 1994
- 31) 西之園晴夫, 現職教員による教育技術研究のための研究方法論の検討, 鳴門教育大学研究紀要 (教育科学編), Vol.9, pp.135-147, 1994
- 32) 西之園晴夫, 教育技術の客観的知識化の方法論について - 教育技術判断命題の妥当性に関する考察 -, 鳴門教育大学研究紀要 (教育科学編), Vol.10, pp.121-129, 1995
- 33) 西之園晴夫, 現職教育における修士課程の教育制度と教育方法 - もう一つの教師教育と遠隔教育, 鳴門教育大学研究紀要 (教育科学編), Vol.11, pp.60-72, 1996
- 34) 西之園晴夫, 高等学校普通科のための情報教育カリキュラムの開発, 日本科学教育学会, Vol. 20, No. 1, pp. 42-50, 1996
- 35) NISHINOSONO, Haruo, Integration of Technologies for Teacher Education, International Symposium on Teacher Education and Japan-U.S. Teacher Education Consortium, 1996
- 36) 西之園晴夫, 教育システム・学習メディア研究分野の成果, 日本科学教育学会 20 周年記念論文集, pp. 365-371, 1996
- 37) NISHINOSONO, Haruo, Technical and Vocational Education in Japan, International Seminar on Technical and Vocational Education by UNESCO and Ministry of Education, 1997
- 38) 西之園晴夫, 飛躍と誤謬と新理論 - 教育工学の哲学を求めて -, 日本教育工学雑誌 Vol.21, No.4, pp.183-190, 1998
- 39) 西之園晴夫, 教育実践の研究方法としての教育工学, 日本教育工学会論文誌, Vol.23, No.2, pp.67-77, 1999
- 40) 西之園晴夫, 教育技術の開発における研究方法論の考察, 佛教大学教育学部論集, Vol.11, pp.187-200, 2000
- 41) NISHINOSONO, Haruo, How Can We Share Teaching Experiences in Different Countries through ICT? - Concepts, Models and Propositions for Instructional Design and Analysis -, Annual Conference of the Society for Information Technology and Teacher Education, Orlando, Florida, pp.1159-1164, 2001
- 42) NISHINOSONO, Haruo, A Smooth Road from Conventional Teaching to Distance Learning in Teacher Education, Educational Perspectives, Vol. 35, No. 1, College of Education, University of Hawaii, pp.37-44, 2002
- 43) 西之園晴夫, 知識創造科目開発における教育技術の研究手法 - 問題解決能力を育成する教員

- 養成のための授業開発の事例, 日本教育工学会誌, Vol.27, No.1, pp. 37-47, 2003
- 44) NISHINOSONO, Haruo , Empirical Approach for Designing Universal Learning with Ubiquitous ICTs - u-Learning for Enhancing the Right to Learn., The Joint workshop and seminar on Cognition and Learning through Media-Communication for Advanced e-Learning, Berlin, pp. 147-152, 2003
- 45) NISHINOSONO, Haruo Instructional Development for Knowledge Creation in Large-scale Class, Proceeding of 14th International Conference, — Society for Information Technology & Teacher 2002 —, pp.2558-2561, 2002
- 46) NISHINOSONO, Haruo, Designing Ubiquitous and Universal Learning Situations - Integrating Textbooks and Mobile Devices, Proceeding of 19th Annual Conference of Distance Teaching and Learning, — Madison, Wisconsin —, 2003
- 47) NISHINOSONO, Haruo, MACETO Model for Instructional Development of Knowledge Creation in Large Class, Proceeding of 14th International Conference, Society for Information Technology & Teacher 2003, pp. 2057-2060, 2003
- 48) 西之園晴夫, ICT時代の教育実践と教育技術について, 教育システム情報学会誌 Vol.21, No.4, pp.398-406, 2004
- 49) NISHINOSONO, Haruo, Universal and Ubiquitous Learning in an ICT Society for Enhancing the Right to Learn, —SEAMEO-UNESCO 2004 Education Congress and Expo, Bangkok—May(招待講演) pp.27-29, 2004
- 50) NISHINOSONO, Haruo, Takashi IKUTA and Tazu TOGO, Sharing Experiences and Creating Knowledge on the Web for U-Learning, Proceedings of the IADIS International Conference on Web Based Communities 2005 , pp. \*\*\*-\*\*, 2005
- 51) NISHINOSONO, Haruo and Shino MOCHIZUKI , Metaphor, Image, Model and Proposition for Designing Autonomous Learning, Proceedings of EDEN 2005 Annual Conference - Helsinki, Finland, pp.41-46, 2005
- 52) 西之園晴夫, 宮田仁, 望月紫帆, 教育実践の研究方法としての教育技術学と組織シンボリズム, 教育実践研究, Vol.8, No.1, pp.23-34, 2006
- 53) NISHINOSONO, Haruo, Tazu TOGO, Pedagogy for Designing Collaborative and Autonomous Learning to Accommodate Diverse Learners, Proceedings of the IADIS International Conference on Web Based Communities 2006 , pp. 19-27, 2006
- 54) NISHINOSONO, Haruo Hitoshi MIYATA, Shiho MOCHIZUKI, Collaborative and Autonomous Learning and Organizational Symbolism, Proceedings of EDEN 2006 Annual Conference pp.487-492, 2006
- 55) NISHINOSONO, Haruo, Shiho MOCHIZUKI and Hitoshi MIYATA, A Problem solving approach in Instructional Technology for Large-size Classes, International Journal of Web Based Community, Vol. 3, No. 285-300, 2006
- 56) 西之園晴夫 望月紫帆 生涯学習社会における協調自律学習の教育技術の基礎研究, 佛教大学教育学部論集第 17 号 pp.59-67, 2006
- 57) NISHINOSONO, H. S. MOCHIZUKI From Instruction in Large Sized Classes to Team Learning Distributed at Workplaces, *Proceedings of EDEN2007 Annual Conference - Napoli, Italy, CD 2007*
- 58) 西之園晴夫, 望月紫帆, 浅井和行, 現職教員を含む修士課程でのキャンパス学習と遠隔学習の融合, 日本教育実践学会年会, 2007
- 59) 西之園晴夫 教育実践者にとっての理論と研究方法 日本教育実践学会研究会, 2007
- 60) 西之園晴夫, 望月紫帆, 自律的学習における開発技術と研究方法論—輸出可能な国産教育技術の開発を目指して—, 日本教育実践学会年会, 2007
- 61) NISHINOSONO, H., Tazu TOGO et al. Symbolic Approach for Developing Collaborative and Autonomous Learning in Higher Education, International Conference on Web-Based Education, *The Proceeding of WBE 2008*, Innsbruck, Austria , pp.235-240, .2008
- 62) 西之園晴夫 属人的教育技術から社会的教育技術への転換, 日本教育実践学会年会 2008
- 63) 西之園 晴夫, 望月 紫帆 知識創出の教科としての情報科の授業開発(中間報告) - 教える教科から学ぶ教科への転換 - 日本情報科教育学会, 2008
- 64) 西之園晴夫 生活者の視点からの情報教育—シンボリック授業設計法 情報科教育学会誌 第 1 巻 2008

- 65) 西之園晴夫 格差社会における協調自律学習の意義と方法論—ユビキタス ICT の活用による学習のシンボリック設計法—*佛教大学総合研究所紀要*第 16 号, 2009
- 66) NISHINOSONO, Haruo, Kyoko SAIO and Kunio NAKAMURA A Collaborative Platform for Designing Ubiquitous Learning *EDEN Conference 2009* Gdansk, Poland, 2009
- 67) 西之園晴夫 公式外学習(non-formal learning)による高等教育(大学を除く)の開発と協調自律学習, 日本教育工学会年会, 2009
- 68) 西之園晴夫 生活者の視点からの情報科教育と職場研修による教師生涯学習システム, 日本情報科教育学会, 2009
- 69) 西之園晴夫, 東郷多津, 堀出雅人, 望月紫帆 協調自律学習をデザインする教育技術と組織シンボリズム 日本教育工学会年会, 2010
- 70) 西之園晴夫 無償の高等教育(大学を除く)をデザインする, 日本教育工学会研究会 2010
- 71) 西之園晴夫 日本の情報科教育はなぜ教えなければならないのか, 日本情報科教育学会 2010
- 72) 西之園晴夫, 堀出雅人, 日高由紀 変動社会における生活の保障と高等教育のデュアルシステム 日本教育工学会研究会 2011
- 73) 西之園晴夫, 堀出雅人, 望月紫帆 変動社会における生活権の保証としての高等教育の開発—京都レッツラーン大学校のデザインと経過報告—, 日本教育工学会年会 2011
- 74) 西之園晴夫, 堀出雅人 分散同期型協働学習による非大学型高等教育としての京都レッツラーン大学校 日本教育工学会研究会 2012
- 75) 西之園晴夫, 望月紫帆, 東郷多津, 高橋朋子 学習指導の改善と改革-PDCA モデルと渦巻成長モデル 日本教育工学会年会, 2013
- 76) 西之園晴夫 工学的アプローチによる教育実践研究法の探求と学習開発研究への展開, 日本科学教育学会第 38 回大会, 大宮, 2014
- 77) 西之園晴夫 外部公式学習の社会的認知と職業能力の開発, 日本教育工学会年会, 2014
- 78) 西之園晴夫 学習者中心主義の背後にある課題, 日本教育実践学会, 2014
- 79) 西之園晴夫, 堀出雅人, 望月紫帆, 高橋朋子, 東郷多津 地域固有の土着知を地域活性化に活用する学習開発の構想 日本教育工学会研究報告集 JSET 14-5, 2014
- 80) 西之園晴夫, 森幹夫, 堀出雅人 京都府宮津地域での海洋スポーツ・余暇と栽培漁業の専門職の創出と仕事基盤学習(1), 日本教育実践学会第 15 回大会, 2015

以 上